

伊良湖岬中学校の統合について

H28. 2. 17 伊良湖岬中学校統合検討委員会

【方針変更案】

- 伊良湖岬中学校統合先の決定時期について、平成27年度末までとしているものを平成28年度中とし地域と慎重に協議を進めていく。
- 伊良湖岬中学校の統合時期を延ばすことも視野に協議を進めていく。
- 福江中学校の老朽施設について、改築・長寿命化対策を計画にのせていく。

1 伊良湖岬中学校統合のこれまでの考え方

平成25年4月からの地域での意見交換、和地小・堀切小・伊良湖小統合準備委員会での議論を踏まえ平成26年7月に「今後の考え方」を示し、12月に策定した学校全体配置計画において次のように統合の方式等を示している。

- ・地域がまとまって赤羽根中あるいは福江中、または地域を分けて赤羽根中か福江中
- ・統合先は岬小での学校生活を経て地元とともに判断するとし平成27年度末までに決定
- ・統合の時期は平成30年度

2 伊良湖岬小学校建設について

伊良湖岬小学校の新たな校舎については、伊良湖岬中学校跡地等に平成32年度に建設する計画で、現在、基本設計業務等を進めている。

3 伊良湖岬中学校統合検討委員会等での協議

平成27年6月に伊良湖岬中の統合先について検討するため、伊良湖岬中学校統合検討委員会を設置し統合先等について協議を行っている。また、泉校区でも平成27年7月に泉中学校再編検討委員会を設置して中学校再編の協議を行っている。

また、11月下旬には堀切・和地・伊良湖地区及び泉校区で校区意見交換会を行った。

<検討委員会・意見交換会での主な意見>

- ・保護者の意見をしっかりと聞いて欲しい。
- ・統合先、統合してからのことが心配で不安、統合を急がなくても良い。
- ・小6で統合また、中3年での統合は子どもに負担がかかる。
- ・統合しなくても今のままで良い。小規模校で良い。
- ・中学校の統合の時期をおくらせるのも選択肢の一つではないか。
- ・泉は野田中の状況、岬中の動きを見てから判断しても良いのではないか。
- ・伊良湖岬中の統合については強く延期を望む。

- ・統合に心配している家庭と、それほどでもない家庭がある。
- ・福江中か赤羽根中かの判断はなかなか難しい。
- ・どちらの中学に行くにしても、岬中と泉中が同時期の統合が良い。
- ・伊良湖岬小はまとまっていずれかの学校へ動くほうが良い。
- ・建物の建設が先行している。急いで校舎を建てなくても、子どもの立場で考えて欲しい。
- ・岬中の統合先を決められない状況では、岬小建設も見直してはどうか。
- ・伊良湖岬小学校を予定どおり平成32年度に新設して欲しい。
- ・新設の中学校を渥美地域につくって欲しい。新設中学校ならそこへ通いたい。
- ・将来新設の渥美中学校が出来るなら、地域性で福江中学校という選択肢もある。
- ・福江中学校を改築・建替えして渥美中学校として、まとめて統合したほうが良い。

4 伊良湖岬中学校統合について今後の考え方

◇検討委員会及び校区意見交換会での意見を考えると、伊良湖岬中の統合先を予定どおり平成27年度末までに決めること、また、平成30年度から他校に統合するといった方針をこのまま進めるのは地域の意向を尊重するとした考えからして困難な状況である。

そのため、統合先の決定時期については、平成28年度中として地域と慎重に協議を進めていくものである。また、統合先決定の時期によっては、中学校の統合時期を延ばすことも視野に協議を進めることを考慮する必要もある。

◇渥美地域から要望のある新設の中学校については、小中学校の改築更新について、学校再編も視野に、老朽化による改築更新時期を見据え来年度、学校全体の整備計画を策定するという対応を考えている。しかし、検討委員会・意見交換会での意見に、渥美地域に新設の中学校または、福江中学校の改築をとの意見がある。福江中の改築・長寿命化対策をこれから計画していくことで、これらの意向に対応していくものである。

◇地域からの意見に対応し中学校統合の協議を進めるため、統合決定の時期及び統合する時期によっては現在、計画している伊良湖岬小学校の建設時期が延びる可能性もあり得る。

◇今後、これらの方針を地域に説明しながら協議を進めるとともに、地域の考え方・まとまりを尊重しつつ、また、教育委員会の考え方をまとめそれを示しながら学校再編をまとめていく考えである。